

2026年度 実務経験のある教員による授業科目一覧【看護学部】

科目名	氏名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
健康科学	加藤 俊文	2	担当者はそれぞれスポーツ指導、健康教育などの専門家である実際に教育機関やスポーツ現場等で多くの選手や関係者をサポートしている経験を有する
公衆衛生学	井出 成美	2	保健師として勤務した経験を活かし、公衆衛生学について、生活をしている限り自分に関係のあることとして捉えられ、且つ看護職としての視点も養うための講義を行う。
カウンセリング基礎	山口 豊	1	カウンセラーのキャリアを生かした授業を展開する。
リハビリテーション論	北村 幸恵	1	教育リハビリテーション、社会リハビリテーション、職業リハビリテーション、リハビリテーション看護の実務経験に基づいたリハビリテーションの考え方と実際についての講義を行う
地域包括ケアと多職種連携	井出 成美	1	実務経験を踏まえて、地域包括ケアシステムや多職種連携に関する学生のリフレクションへのフィードバックをします。
口腔健康論	伊藤 美香	1	摂食嚥下リハビリテーションに従事した経験を活かし、口腔の健康に関連した講義を行う。
形態機能論Ⅰ	川島 悠	2	・現役の臨床医による各専門領域に関する講義
形態機能論Ⅱ	川島 悠	1	・現役の臨床医による各専門領域に関する講義
病態生理学	古山 陽一	1	臨床経験の豊富な講師がオムニバスで講義を担当し、疾病等によって生じる症状や徴候について系統的に講義を行う。
疾病と治療Ⅰ	川島 悠	2	講師は、臨床医が担当する。
疾病と治療Ⅱ	川島 悠	1	講師は臨床医が担当する
疾病と治療Ⅲ	中嶋 隆裕	1	(小児) 小児科・小児外科病棟での勤務経験から看護で必要となる医学的知識と治療の対象となる個人及び集団の特徴を説明する。また、医学部大学院および基礎医学研究にて学んだ専門的知識を看護経験と結びつけて理解しやすいように説明する。(精神) 日常の診療経験を含め、治療及び療養の実際と対象となる個人及び集団の特徴について説明する。
看護と情報Ⅰ	山内 英樹	1	医療機関での実務経験を活かし、医療従事者の情報管理の実際や医療情報システムの現状を踏まえた講義を行う。また、看護師としての実務経験を踏まえ、看護師の働く環境にICTやIoT、AIなどのデジタルテクノロジーがどのように活かされていくかを示していく。

科目名	氏名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
看護と情報Ⅱ	水野 芳子	1	研究活動と看護実践の経験を活かし、保健・医療・看護分野におけるデータサイエンスの視点を養う講義を行う。
キャリアデザインとケアⅠ	市川 香織	1	看護師、人的資源管理の専門家としての経験をもとにしたキャリアデザインについて授業で具体的な事例を提供する。
キャリアデザインとケアⅡ	市川 香織	1	看護師としての経験をもとにしたインタビュー技術やチームにおける対話力、チームワーク、ラボレーション、リーダーシップ、フォロワーシップの実際についての授業内容とする。
キャリアデザインとケアⅣ	市川 香織	1	専門職業人のキャリアサポートを行ってきた実務経験を活かして、卒業前教育としての総仕上げとなるよう具体例を通じた授業を行う。
看護学概論	岡田 彩子	2	臨床での看護師、看護管理者、院内教育担当者/責任者、専門看護師の実務経験を活かし、初めて学修する学生を対象に、看護学、看護実践の基盤となる内容の学修を進めていきます。はじめて看護学を学ぶ皆さんがより理解しやすいように、経験談や事例を交えて、概説していきます。社会構造の変化や、医療を取り巻く環境の変化に伴って、看護もその時代や環境によって、社会から求められることが変化していきます。その中でも、基本に立ち返って看護の在り方について考察し、看護を創造し続けてけるように、討議、グループワークの時間も取り入れて伴に考察していきます。
ヘルスアセスメント論	岡田 彩子	2	循環器の集中治療領域での実務経験（看護師）および看護管理者の経験、米国カリフォルニア州で専門看護師課程でヘルスアセスメントを学んだ背景を活かし、看護師が行うヘルスアセスメント（看護対象者の理解と健康状態のアセスメント）の基礎的な知識・技術を、講義を演習（デモンストレーションとハンズオンな実技指導）によって、看護の対象者の健康状態の把握とアセスメント実践能力の基礎的内容の修得を目指す。
看護技術論Ⅰ	岡田 彩子	2	病院での看護師経験を活かし、日常生活援助技術に関する講義・演習を行う。具体的には、主要な看護技術の意義と特徴を理解し、対象の安全・安楽・自立を目指すことを大切に考え、対象との信頼関係を築き、ケアの相互作用を感じながら技術の提供が行えるよう支援する。

科目名	氏名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
看護技術論Ⅱ	川島 悠	2	総合病院の集中治療、スタッフの実務教育等の経験を活かし、看護技術（主に診療の補助技術）の基礎について教授する。講義・演習においては、実務で経験した事や臨床判断、コツ等を紹介しながら、実践の応用や注意すべき点についてイメージしやすいように展開する。また、診療の補助に係る技術では患者に侵襲を加える行為も含まれるため、根拠に基づいた安全・安楽な援助技術を身につけられるよう支援する。
看護過程論	川島 悠	1	急性期、集中治療、地域での臨床経験を活かし、患者ではなく、健康課題をかかえた生活者としての対象理解に必要な看護の視点について、経験や事例を通して、解説していく。
基礎看護学実習Ⅰ	岡田 彩子	1	総合病院の病棟での実務経験を活かし、医療施設において患者の療養環境や入院生活の中での援助の在り方や援助技術の提供を支援する。病院（臨地）において患者と療養の場を共有し、患者を取り巻く療養環境を多角的に捉え、対象ひとり一人にとって、よりよい療養環境や入院生活の中でのケア提供の支援を行う。
基礎看護学実習Ⅱ	川島 悠	2	総合病院の病棟での実務経験を活かし、医療施設において患者の療養環境や入院生活の中での援助の在り方について指導する。病院（臨地）において患者と療養の場を共有し、患者を取り巻く療養環境を多面的に捉え、その人にとってよりよい療養環境や入院生活の中での援助のあり方について指導する。
看護倫理	水野 芳子	1	看護師としての実践経験と患者家族としての実際の体験に基づき、臨床場面で遭遇する倫理的諸問題について紹介するとともに、その解決のステップについて学習する。
母性看護学概論	市川 香織	2	助産師としての実務経験を活かし、生涯を通じた女性の健康の支援、リプロダクティブヘルス・ライツに関する概念と具体的な支援、母子保健とそれを取り巻く課題等について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
母性看護学方法論	市川 香織	2	助産師としての実務経験を活かし、周産期における母性の特性を理解し、妊娠・分娩期および産褥期にある女性と新生児、その家族の看護について指導する。講義と演習の組み合わせにより妊婦・産婦・褥婦の身体的・心理的变化と家族を含めた対象の心理・社会的特性、および新生児の生理的特徴についての知識、観察と援助に必要な看護技術を習得できるような形態で行う。

科目名	氏名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
母性看護学実習	市川 香織	2	助産師としての実務経験を活かし、周産期（妊娠期・分娩期および産褥期）における女性と新生児の身体的・心理的变化、及びその家族の心理・社会的特徴の査定、対象に応じた看護実践について指導する。病院及び地域の臨地実習で、周産期前後にある女性及び子どもとその家族を理解し、母子や家族の変化を総合的に捉え、健康を保持増進するために必要な看護について考察する。
小児看護学概論	中嶋 隆裕	2	小児科・小児外科での実務経験のある教員が、小児看護の基礎について解説する。子供を取り巻く保健・医療・福祉の動向と課題について理解し、成長発達過程にある子どもの特徴や小児看護の役割を学ぶ。また小児看護における倫理や子どもの最善の利益を目指した看護について学ぶ。
小児看護学方法論	中嶋 隆裕	2	小児科・小児外科での実務経験のある教員が、小児看護の基礎について解説する。健康障害を有する子どもとその家族について臨床で必要となる知識や技術を実例を交えながら指導する。技術演習では一つ一つの行為にどのような根拠や狙いがあるかを考えながら取り組めるように援助する。
小児看護学実習	中嶋 隆裕	2	小児科・小児外科での実務経験のある教員が、小児看護の実践について指導する。健康な子ども、健康障害を有する子ども、障害を持つ子どもなど様々な健康レベルの子どもとその家族について必要な看護支援をそれぞれの実習施設において学び、地域ケアにおける小児看護のあり方について理解を深める。
成人看護学方法論(急性期)	山内 英樹	2	教科書に記載された内容だけではなく、教員それぞれの実務経験に基づいた実践例を交えることで、理論と実践を結びつけた授業を行う。
成人看護学方法論(慢性期)	北村 幸恵	2	臨床での豊富な看護実践の経験を有する教員が実践的な授業展開を行う。
成人・高齢者看護学実習	山内 英樹	3	教員はそれぞれ臨床での看護実践経験を持つ。その経験を踏まえた指導を実施する。
成人・高齢者看護学実習	北村 幸恵	3	実習指導にあたる教員は、成人看護学領域での十分な臨床経験を有している
高齢者看護学概論	長坂 奎英	2	総合病院の病棟での高齢者看護および老人看護専門看護師の実務経験や管理者経験を活かし、加齢減少が高齢者の身体面・心理面・社会面に及ぼす影響について解説する。更に事前事後学習やグループワークを通じて高齢者を取り巻く保健・医療・福祉における問題と課題を考察し、老年看護の目的と役割を理解する。

科目名	氏名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
高齢者看護学方法論	長坂 奎英	2	高齢者看護学の臨床経験を活かし、加齢に伴う身体的・心理的・社会的な変化をふまえ、高齢者に生じやすい様々な生活機能ならびに健康上における障害の特徴と予防方法について指導する。講義と演習を連動させることにより、高齢者看護の対象となる人々の特性に応じた看護の提供方法および看護実践に必要な基礎知識・技術を修得する。
高齢者看護学実習	長坂 奎英	2	高齢者看護の実務経験に加え高度実践看護の経験を活かし、高齢者とその家族の意思や価値観を尊重した対応について指導する。高齢者福祉施設、介護医療院、リハビリテーション病院での臨地実習では、施設や医療機関で療養・生活する高齢者高齢者と直接的なコミュニケーションを図る機会を持てるよう指導する。また、良質な高齢者ケア提供のための保健医療福祉の連携ならびに複数の専門職連携により高齢者を支えることの重要性を学ぶことを促し、地域包括ケアシステムにおける高齢者支援の状況を深く捉える。
精神看護学概論	山内 英樹	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリハビリを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
精神看護学方法論	山内 英樹	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリハビリを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
精神看護学実習	山内 英樹	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリハビリを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
在宅看護学概論Ⅰ	水野 芳子	1	講義において実務経験から得た在宅・地域での人々の暮らしや社会資源の機能および地域ケアシステムについて教授する。
在宅看護学概論Ⅱ	水野 芳子	1	講義内容の理解を深めるため、担当教員の経験に基づく具体例を示す。
在宅看護学方法論	水野 芳子	2	在宅看護の実務経験を活かし、在宅療養者とその家族を単位とした地域・在宅での看護活動の展開方法と技術について指導する。講義と演習との組み合わせにより、訪問看護で用いられる主な医療的管理や看護ケア技術を学ぶ

科目名	氏名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
在宅看護学実習	水野 芳子	2	在宅看護の実務経験を活かし、在宅で療養する対象者やその家族への支援や看護の役割について指導する。訪問看護ステーションの看護活動としての同行訪問し、在宅療養者やその家族が利用できる施設や機関、組織の活用方法や関係機関・職種との連携方法を学び、地域ケアシステムにおいて看護職が担う役割やこれからの看護職のあり方について考察する。
地域看護学概論	井出 成美	2	保健師としての活動経験からの実践知を含めて講義します
地域看護学方法論	時田 礼子	2	保健師として勤務した経験を活かし、地域診断や健康教育など、地域看護を展開する上で重要な方法を身につけられる講義やグループワークを行う。
地域看護学実習	岸田 るみ	1	地区の把握の仕方等を保健師の視点で伝える。
統合実習	山内 英樹	2	各領域の担当教員は看護師・保健師・助産師の専門性を生かし、学生が選択したテーマを実習で効果的に深められるよう支援しながら実習指導を行う。
ヘルスケアマネジメント論	岡田 彩子	1	看護管理者の実務経験をもとにマネジメントに関する基礎知識と、具体的な事例（状況）の中で活用できるマネジメント方法について講義を行う
国際看護論	岡田 彩子	1	外国人の研修受け入れや海外での看護実践経験を活かし、国際看護の概念やグローバルな視点で「健康」や健康課題について、異文化・多様性を考慮したケアについて、学生がイメージしやすいように展開していく。
看護研究	山内 英樹	1	総合病院の病棟での実務経験を活かし、医療現場における疑問や課題から研究課題へと洗練し。研究デザインや研究方法の選定、データ収集から分析、結果のまとめ方の概要について指導する。
家族看護学	市川 香織	1	講義を担当する教員は看護師としての実務経験を活かし、家族に関する概念と具体的な支援について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
公衆衛生看護活動方法論	井出 成美	1	保健師としての経験をいかして、地区診断の内容を享受する
公衆衛生看護活動方法論	井出 成美	2	講師らの保健師活動経験からの知見を講義や演習に反映させる。
公衆衛生看護学実習 I	時田 礼子	3	保健師としての実務経験を活かし、学生による地区診断及び健康教育の実践を支援する。また保健所及び市町村における保健師活動の実際について、学生の体験を基に意味づけを行い、公衆衛生看護学についての理解を深める。
	合計	91	